

# 国民健康保険に加入している70歳未満の皆さんへ 高額療養費制度が変わります



来年1月1日の制度改正により、高額療養費の所得区分と自己負担限度額が細分化されます。所得区分と自己負担限度額は世帯の所得に応じて異なります。詳しい所得区分と自己負担限度額は下表のとおりです。

## 限度額適用認定証の郵送

制度改正に伴い、限度額適用認定証の適用区分の記載も変更されます。現在、限度額適用認定証をお持ちの人には、制度改正後の適用区分が記載された新しい限度額適用認定証を12月中旬に郵送します。

※限度額適用認定証を医療機関に提示すると、医療費の支払額を自己負担限度額までにとどめることができます。新たに交付を希望する人は申請が必要です

問い合わせ 市民課国保年金係 ☎内線3134、白沢町総務課市民係 ☎内線31、利根町総務課市民係 ☎内線40へ

## 現行

所得区分	※1	自己負担限度額
上位所得者 所得※2が600万円を超える世帯	A	15万円+(総医療費-50万円)×1% 【8万3,400円※3】
一般 上位所得者と非課税以外の世帯	B	8万100円+(総医療費-26万7,000円)×1% 【4万4,400円※3】
非課税 市民税非課税世帯	C	3万5,400円 【2万4,600円※3】

※1 A～C、ア～オは、限度額適用認定証の適用区分欄の記号です  
※2 所得は基礎控除後の所得とします  
※3 過去12カ月に4回以上の高額療養費の支給がある場合の自己負担限度額

## 改正後

所得区分	※1	自己負担限度額
上位所得者 所得※2が901万円を超える世帯	ア	25万2,600円+(総医療費-84万2,000円)×1% 【14万100円※3】
上位所得者 所得※2が600万円を超え901万円以下の世帯	イ	16万7,400円+(総医療費-55万8,000円)×1% 【9万3,000円※3】
一般 所得※2が210万円を超え600万円以下の世帯	ウ	8万100円+(総医療費-26万7,000円)×1% 【4万4,400円※3】
一般 所得※2が210万円以下の世帯	エ	5万7,600円 【4万4,400円※3】
非課税 市民税非課税世帯	オ	3万5,400円 【2万4,600円※3】

### 児童扶養手当法が改正され、公的年金などの供給制限が見直されます

これまで、公的年金(遺族年金、障害年金、労災年金、遺族補償など)を受給する人は、児童扶養手当を受給できませんでしたが、平成26年12月以降、年金額が児童扶養手当より低い人は、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになります。

**新たな対象者**

次の①～③に該当する人などが対象となります。

- 子を養育している祖父母などが、低額の老齢年金を受給している場合
- 父子家庭で、子が低額の遺族厚生年金のみを受給している場合
- 母子家庭で、離婚後に父が死亡し、子が低額の遺族厚生年金のみを受給している場合

**児童扶養手当額** 公的年金などと児童扶養手当額の差額になります。対象者の所得や年金受給額などに基き算出します

**児童扶養手当の月額(参考)** 子ども1人の場合/全部支給(4万1020円)、一部支給(9万800円) 4万1010円

※子ども2人目は5000円が、3人目以降1人につき3000円が加算されます

**支給開始日** 手当は申請の翌月分から支給開始となります

※これまで公的年金を受給していたことにより児童扶養手当を受給できなかった人のうち、平成26年12月1日に支給要件を満たしている人が、平成27年3月31日までに申請した場合は、平成26年12月分の手当から受給できます

**申請窓口** 必要書類などは、該当する支給要件によって異なります。今回の改正により対象となる人は、子ども課子育て支援係へご相談ください

**問い合わせ** 子ども課子育て支援係(東原庁舎内) ☎77258へ



## 受章(賞)おめでとうございます 叙勲・褒章・県功労者表彰

### 秋の叙勲

**旭日小綬章**  
[地方自治功勞]

**高橋 襄典さん**  
(恩田町)

元沼田市議会議員



昭和58年4月に沼田市議に就任し、平成9年から市議会議員を務められ、関東市議会議員会群馬県支部長などを兼任。平成23年の退任まで、7期28年にわたり地方自治の発展に尽力されました。

「荣誉ある章をいただき身に余る思いです。これも支えてくれた家族やご支援いただいた皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます」

### 秋の褒章

**黄綬褒章**

**峯川 卓美さん**  
(栄町)

利根郡信用金庫理事長



昭和41年から利根郡信用金庫に勤務され、平成20年に理事長に就任。長きにわたり地域の発展のため尽力された功績が認められ受章されました。


「地域を元気にしていきたいという思いを持ち、一体となって走ってきました。今後も、地域の皆さまとパートナーシップを組み、地元経済発展のため努力し、負託に応えていきたい」

### 県功労者表彰

**【スポーツ】 山田 稔さん**(東倉内町)

県水泳連盟副会長

**林柳波**  
本市出身の童謡作詞家。代表作は「オウマ」、「ウミ」、「うぐいす」、「羽衣」など。他に「春の小川」の口語訳や「たなばたさま」、「港」の補作などでも知られる。



来月2月8日(日)に開催される生涯学習フェスティバルの閉会セレモニーの席上で行われます。

**市制施行60周年記念事業 第16回柳波賞入賞作品決定**

問い合わせ 社会教育課社会教育係 ☎内線3334

本市の名誉市民で、童謡作家の林柳波が残した功績を永く顕彰するため、平成11年度に創設された柳波賞の第16回入賞作品が決定しました。

今年も全国から童謡詩を募集したところ、1398点もの応募がありました。

審査を詩人の高階紀一さん、岡田芳保さん、女優の黒木瞳さん、横山市長の4人により厳正に行なった結果、柳波賞には熊本県熊本市の大川正敏さんが選ばれました。入賞者の表彰式は、

**柳波賞入賞者**

■一般の部 応募577点

優秀賞 「はるとあき」★増田邦比古(京都府京都市)

佳作 「ねこじやらし」★きむらゆりあ(大阪府豊能郡) / 「たねをまく」★こやまはつみ(三重県松阪市) / 「みのむしぼうや」★貴船涼介(兵庫県神戸市) / 「あき」田口栄一(大阪府高槻市) / 「海辺のかくれんぼ」★

**柳波賞受賞作品**

「夏休みの飼育小屋」 大川 正敏

夏休みの午後 学校の小屋のわたり じつとして ゆっくり目ばたき していたが ぼくを見つけて かけて来た きつとさびし かったんだ

夏休みの午後 学校の小屋のうさぎは 腹ばいで お山の穴で 寝ていたが 草を見せたら かけて来た お腹へこべこ だったんだ

作品審査を行う審査員の皆さん  
写真左から岡田芳保さん、黒木瞳さん、高階紀一さん



はつとりせいこ(神奈川県相模原市)

※★印はペンネーム

■小学生の部 応募821点

優秀賞 「お盆」南雲怜(沼田東中学校)

佳作 「さくらの花びら」金子月南(白沢小学校) / 「あめのだんす」岡田拓真(薄根幼稚園) / 「こくぼん」高橋巧(利根東小学校) / 「ダンゴムシ」飯塚窓(沼田南中学校) / 「さかなとぼくのいとでんわ」星野琉聖(升形小学校) / 「めい」吉野天成(沼田東中学校) / 「夏やさい」戸丸虹奈(沼田東中学校) / 「かまきり」市根井伽威(沼田北小学校)